【新型インフルエンザが疑われる場合】
①発熱（38度以上の高熱）
②咳、息苦しさ
③新型インフルエンザ患者と濃厚な接触があった方

感染拡大と院内感染防止のため、ご協力をお願いいたします。
【保健所発熱相談センター
上野総合市民病院医療業務課 ☎24-8045】
☎24-1111

伊賀市定額給付金について

本庁定額給付金室

伊賀市の定額給付金は、5月18日現在で、34,990件の申請を受けました。そのうち、32,298件の給付を行いました。

定額給付金申請書の受け付けは、10月1日までですので、締切日までに申請してください。また、まだ給付申請書がお手元に届いていない場合は、定額給付金室までお問い合わせください。

対象者数（予定）

40,348人

受付済申請書数

34,990件

給付済件数

32,298件

【問い合わせ】

本庁定額給付金室

☎22・9630

暮らしなんでも相談

本庁商工観光課

賃金不払、不当解雇、年金、税金、介護、子育て、ローン相談（住宅・自動車・教育・育児・介護）、保険の保障見直し（生命・自動車・火災・自然災害）、住宅新築・建替え・リフォーム・住宅のトラブルなど、弁護士・税理士・社会保険労務士・社会福祉士などが

無料で相談にお応えします。

【とき】 6月6日(土)

午前10時～午後4時

【ところ】 ゆめぼりすセンター

【申込先・問い合わせ】

暮らしほっとステーション

伊賀（連合三重伊賀地域協議会事務局内）☎23・6063

午前9時～午後5時

※土・日曜日、祝日は除く

禁煙週間

本庁健康推進課

禁煙週間が5月31日から始まりです。この機会に禁煙について考えてみませんか？

たばこを吸うことによつて、がんや脳梗塞、心疾患などの多くの病気になるリスクが、健康に悪い影響を与えます。

また受動喫煙も、肺がんや虚血性心疾患などの死亡率の上昇や、喫煙しない妊婦でも低出生体重児の出産となる確率が上昇するといった報告が近年多く見られています。小児では喘息、気管支炎などの呼吸器疾患、乳児では乳幼児突然死症候群と関連があるともいわれています。

禁煙外来では、主に精神面での禁煙支援や、ニコチン置換療法（ニコチンガム・ニコチンパッチを使用）、非ニコチン製剤（バレニクリンなど）による禁煙治療が行われて

います。禁煙ができずにお悩みの方は受診してください。また、健康推進課では、たばこの害と健康について、出前講座を行っています。相談も随時受けていますので、お気軽にご相談ください。

【問い合わせ】

本庁健康推進課

☎22・9653 FAX26・0151

☐kenkousushin@city.igaki.jp

【しらすぎクリーンセンターからのお知らせ】

伊賀市（青山支所管内は除く）の各家庭から排出される資源ごみの内、紙および布を一時的に保管するためのストックヤードが、旧焼却炉跡地に完成し、6月から稼働します。施設の概要は、次のとおりです。

【名称】 伊賀市ストックヤード（下友生3006番地の1）

【施設の内容】 紙および布の一時保管庫・研修室・事務所など

【面積】

建築面積 674.60㎡

延床面積 608.12㎡

【事業の内容】 伊賀市から委託を受けた者が各家庭から収集し、搬入された資源化ごみの内、紙および布の処理を行います。ただし、個人の持ち込み

みはリサイクルセンターが完成するまでの間、これまでどおりしらすぎクリーンセンターへの持ち込みとします。

【搬入時間】

午前9時～午後4時30分

※日・祝日、年末年始（12月31日～1月3日）は休止します。

【問い合わせ】

しらすぎクリーンセンター

☎24・4041

伊賀の森と田んぼのいきもの探検隊

大山田支所産業建設課

生きもの博士、谷幸三先生と一緒に、田んぼや森の生きものたちについて勉強してみませんか。

【とき】 6月20日(土)

午前9時30分～正午

【ところ】 大山田中公民館横

【講師】 大阪産業大学人間環境学部 谷幸三さん

【参加費】 無料

【持ち物・服装】 虫や魚をとる網・虫かごを準備し、長靴、軍手、帽子と汚れてもよい服装で参加してください。

【申込先・問い合わせ】

6月17日までに大山田農林

公社へお申し込みください。

☎47・0151

人権パネル展の開催

いがまち人権センター

【とき】 6月10日(水)～18日(木)

午前9時～午後5時

（6月12日のみ午後9時まで）

※土・日曜日を除く

【ところ】 いがまち人権センター

【展示内容】 沖繩戦

今の私たちは、過去の戦争や紛争について風化しているのではないのでしょうか。今一度、悲惨な戦争を見つめなおし、平和の尊さ、紛争や戦争のない21世紀をどう築いていくのかしっかりと考える必要があります。

1945年3月、激烈な戦火が沖繩を襲いました。その戦争の犠牲者となった沖繩の人々の心が写しだされている写真パネルから「二度と戦争を繰り返さない」「いのちの大切さ」を学んでいた

だけののではないのでしょうか。差別のない社会を目指すためには、差別に対してひとりでも多くの方が、正しい知識をつけ、自分に何ができるかを考えていくことが必要です。パネルを通じて人権とは、どのようなものか改めて考えていただきたいと思います。

【問い合わせ】

いがまち人権センター

☎45・4482